

2019年度 小樽歯科衛生士専門学校
学校関係者評価

学校の教育目標

<教育理念>人間性豊かな歯科衛生士として、地域の保健医療に貢献できる医療人を育成する
「愛と知と技を備えた」

項目	評価
建学の趣旨と教育の方針	ホームページなどの媒体を利用するなどして今以上に周知を図っていく努力をすること。
学校運営	教職員同士、歯科医師会との更なる連携が必要と思われる。 感染症などの非常事態時に適切な対応を行うため、常に対策を考えるべき。 非常事態下での学校としての方針・方策等を明確にしておく必要がある。 コンプライアンスに関しては、今後も適切に対応することが求められる。 懸案のホームページでの情報公開は、2019年度から実施済み。
教育活動	授業担当教員、歯科衛生士教育に適した人材の確保、育成が重要である。 教育内容充実の為、教員相互の情報、意見交換は積極的に行うこと。 休校時のために、遠隔授業の導入を図るなど対策を検討すること。 実習先との連絡を密にするとともに、実習先からの意見も取り入れること。 教員の資質向上のため、専任教員の研修会へ参加を積極的に行ってほしい。
学修成果	卒業試験の不合格者が4名発生した。防止の対策を重要課題としてほしい。 退学者防止のための対策を継続して実施する必要がある。 進級について、学修習熟度の判断を、今以上に厳正とする必要がある。 卒業生全員就職が決定したが、今後も適切な就職指導を行ってほしい。
学生支援	担任との個人面談等で個人に合わせた指導方法を行ってください。 各支援制度を継続していくことが大切である。 健康面で、徹底した感染症予防対策の指導、実施を行う必要がある。 保護者との連絡を簡便、双方向性にするための方策を取ってほしい。 卒業生のフォローを同窓会と連携をとって行っていくことが必要と考えます。
教育環境	非常事態宣言などへの対策（遠隔授業等の取組等）が必要となります。 教室設備などの老朽化が顕著になっていますが、前年度から「設備維持費」を徴収していることもあり、更新等の対応が必要でしょう。 防災対策は、訓練だけでなく、日常から学生に適切な指導をお願いします。
学生募集	定員割れの状態を改善するための活動が今まで以上に必要と考えます。 オープンキャンパスの参加人数等が以前よりも増加しており、入学予定者が29名と多くなったので、今後も充実した内容での開催が必要。 訪問活動は、新任の特任副学校長と連携し、進学相談会や高校訪問を行い、高校側からも協力を十分に得ることが大切と考えます。
財務	募集定員まであと4名という状態になり、このまま継続して3学年とも定員に近い人数がそろっていけば、財務的には安定にむかうはずですが、遠隔授業に必要な機材をどの程度の経費で揃えられるかが今後の課題となりそうです。 教室、共有部分の衛生、適正温度管理など、できる対策は行ってください。 2020年度入学生から導入される国の修学支援策に対応する学納金等の納入方法等の対策を行ってください。